

製品安全データシート

作成:1999年 5月10日

改訂:2013年11月22日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KF047-03
製品名 : コラトップ1キロ粒剤12
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : 生産資材部生産業務課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3827-0825
緊急連絡先 : 同上
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

GHS分類

物理化学性危険性	自然発火性固体	: 区分外
	可燃性固体	: 区分外
健康に対する有害性	水反応可燃性化学品	: 区分外
	急性毒性(経口)	: 区分外
	急性毒性(経皮)	: 区分外
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分外
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分外
	皮膚感作性	: 区分外
	生殖細胞変異原性	: 区分外
	発がん性	: 区分1A
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 区分1(呼吸器系)
	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 区分1(呼吸器系、腎臓)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	: 区分3
	水生環境有害性(慢性)	: 区分3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・発がんのおそれ
- ・呼吸器系の障害
- ・長期にわたる、又は、反復ばく露により臓器(呼吸器系、腎臓)の障害
- ・水生生物に有害
- ・長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱い説明書を入手すること。

- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を法、条例に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名: 1, 2, 5, 6-テトラヒドロピロロ[3, 2, 1-ij]キノリン-4-オン / 一般名: ピロキロン

成分及び含有量:	ピロキロン	12.0%
<その他>	シリカ(非晶質)	0.7%
	界面活性剤、鈹物質微粉 等	87.3%

化学式: $C_{11}N_{11}NO$ / ピロキロン

官報公示整理番号: 化審法
安衛法 8-(1)-1760 ピロキロン

CAS No.: 57369-32-1 / ピロキロン

4. 応急措置

目に入った場合: 直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合: 汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹼を使って洗浄する。

吸入した場合: 被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。汚染された衣類や保護具を取り除く。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合: 被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤: 噴霧放水、耐アルコール性泡、消火粉末、炭酸ガス

使ってはならない消火剤: 棒状放水

特有の危険有害性: 火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特定の消火方法: 周辺火災の場合、危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可の場合には、容器及びその周囲に散水して冷却する。汚染された消火水を排水路や河川等に流入させてはならない。

消火を行う者の保護: 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

作業者に対する注意: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具(暴露防止措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。

環境影響に対する注意: 飛散、流出した製品が、環境への影響を起こさないように注意する。

流出物の処理に対する注意: 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意: 取扱いは換気のよい場所で行い、粉塵、ガスのこもり易い場所では取り扱わない。漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉塵、蒸気を発生させない。

火災・爆発の防止: 通常の保管方法で問題無し。

保管上の注意: 直射日光が当たらない乾燥した冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。湿気が入らない様にして保管する。

8. 暴露防止措置

管理濃度: TWA値(シンジェンタ社) ピロキロン 10mg/m³(8hr)

許容濃度: 日本産業衛生学会及びACGIHのいずれも設定されていない。

設備対策: 取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。

有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。

保護具 呼吸用保護具: 防塵マスク

保護手袋: ゴム(不浸透性)手袋

保護眼鏡: ゴーグル型保護眼鏡

保護衣: 耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等

9. 物理・化学的性質

外観等	: 類白色細粒
臭い	: 知見なし
pH (10倍希釈液)	: 10.5(参考値)
融点・凝固点	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 非引火性
発火点	: データなし
燃焼性	: データなし
燃焼又は爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
密度・比重	: 1.02(参考値)
溶解度	: データなし
オクタノール／水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の保管環境下で安定
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット(♂・♀) LD50	5,000 mg/kg 以上 (区分外)
急性毒性(経皮)	: ラット(♂・♀) LD50	2,000 mg/kg 以上 (区分外)
急性毒性(吸入: 粉じん)	: 関連するデータなし	(分類できない)
皮膚腐食性／刺激性	: ウサギ	刺激性なし (区分外)
眼に対する重篤な損傷／刺激性	: ウサギ	軽度刺激性(角膜混濁および結膜発赤が認められたが、

24, 48, 72時間におけるスコアの平均がそれぞれ<1及び<2であり7日以内に回復。区分外)

呼吸感作性	: 関連するデータなし (分類できない)
皮膚感作性	: モルモット 皮膚感作性なし (区分外)
生殖細胞変異原性	: 既存のデータでは分類されない (区分外)
発がん性	: 区分1である結晶質シリカを含む (区分1)
生殖毒性	: 既存のデータでは分類できない (分類できない)
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	: 区分1(呼吸器系)である結晶質シリカを含む (区分1)
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	: 区分1(呼吸器系、腎臓)である結晶質シリカを含む (区分1)
吸引性呼吸器有害性	: 関連するデータなし (分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性 魚	: (コイ)LC50	225.8 mg/L (96時間)	(区分外)
甲殻類	: (オオミジンコ)EC50	52.0 mg/L (48時間)	(区分3)
藻類	: ErC50	50 mg/L (72時間)	(区分3)
残留性/分解性	: データなし		
生体蓄積性	: データなし		
土壤中の移動性	: データなし		
その他	: データなし		

13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類	: 非該当
国連番号	: 非該当

15. 適用法令

農薬取締法	: 登録番号 第23294号
消防法	: 非該当
労働安全衛生法	: 第18条の2(通知対象物質):シリカ(政令番号312)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 非該当
毒物劇物取締法	: 非該当

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献:1)JIS Z 7252:2009 GHSに基づく化学物質等の分類方法
2)GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2012年6月 一般社団法人 日本化学工業協会
3)シンジェンタジャパン社ピロキロン粒剤製品安全データシート

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。